

施策14	スポーツを楽しめる環境の充実	主管部長(課)	地域振興部長(スポーツ振興課)
		関係部長(課)	総務部長(総務課)

1 施策目標

江東区の目指す姿

こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、身近にスポーツを楽しめる機会と環境が確保され、スポーツの持つ力により、誰もが生き生きと暮らせる地域社会が形成されています。

施策実現に関する指標(代表指標)

指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	%	45.1	59.0	58.8	61.5	62.0		65	スポーツ振興課

指標選定理由		区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを客観的に示す指標であるため							
分析	達成度	◆5年度は新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、スポーツ活動の回復基調が続いていることから、スポーツ実施率が増加したと考えられる。							
	4 (順調)	◆区民アンケート調査結果によると、「週1回以上」の割合は、男性の方が女性より高くなっている。							

施策コストの状況

種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
トータルコスト	2,795,111千円	2,401,011千円	3,640,406千円	5,835,541千円
事業費	2,674,617千円	2,295,890千円	3,515,575千円	5,694,585千円
人件費	120,494千円	105,121千円	124,831千円	140,956千円

《参考》施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)

◆令和4年3月、国は第3期「スポーツ基本計画」を策定し、今後、成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%(障害者は40%)になることを目指すこととしている。
◆令和4年1月、都は「TOKYOスポーツレガシービジョン」を策定し、東京2020大会で得た成果を今後のスポーツ振興に活かすため、都立スポーツ施設の戦略的活用やパラスポーツの振興などを掲げている。
◆世界陸上競技選手権大会・デフリンピックが2025年に東京で開催されることに伴い、都は令和5年2月に、東京都が目指す姿を「ビジョン2025 スポーツが広げる新しいフィールド」にまとめ、「全ての人が輝くインクルーシブな街・東京」の実現を目指している。
◆現行の「東京都スポーツ推進総合計画」の計画期間終了に伴い、都は令和7年3月に同計画を改定(令和7年度～12年度)する予定である。

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1		区民のスポーツ活動の促進
主な取組	気軽にスポーツに取り組める機会の創出	
	◆ファミリースポーツチャレンジやシーサイドマラソン大会等のスポーツイベントの一層の充実を図り、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツを通じた交流の促進に取り組む。 ◆6年度は、国の第3期スポーツ基本計画や都が6年度に改定予定の東京都スポーツ推進総合計画との整合を図りながら、江東区スポーツ推進計画の改定を行う。	
	主な実施事業	
取組方針2		スポーツのしやすい環境の整備
主な取組	安心して利用しやすい施設整備・改修	
	◆老朽化が著しいスポーツ施設の改修を最優先に進めるとともに、設備の充実や利便性の向上を図ることで、誰もがスポーツに取り組むやすく、楽しむことができる環境の提供に取り組む。 ◆改修時期を迎える施設においては、バリアフリーの視点を取り入れ、障害者や高齢者も利用しやすい施設への改修を図る。	
	主な実施事業	
		スポーツ施設管理運営事業、少年運動広場維持管理事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	区民のスポーツ活動の促進	主管部長(課)		地域振興部長(スポーツ振興課)						
		関係部長(課)		総務部長(総務課)						
スポーツには、健康維持や体力増進だけでなく、心の健康や人間的な成長を促すことで相手を尊重し思いやる精神が育まれるなど、大きな効果が期待できることから、こどもから高齢者まで世代や障害の有無にかかわらず、区民が主体的にスポーツに取り組み、継続して活動できるよう、スポーツイベントの開催や教室事業を実施するなど、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツ団体の育成、相互交流等の支援を充実させます。また、ソフト面におけるオリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、区民のスポーツに対する意識向上を図るとともに、関係団体が蓄積した知識・技能・経験を活かし、区民のスポーツ活動の促進に取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
体育協会加盟団体・社会教育関係団体の登録団体数		団体	668 (30年度)	625	581	631	677		681	スポーツ振興課
指標選定理由		スポーツ活動の促進に対する区民の取り組み状況を示す指標であるため								
分析	達成度	◆コロナ禍の収束により、学校体育館などを利用するスポーツサークルの活動が活発化し、社会教育関係団体の新規登録数の増加につながったと思われる。								
	4 (順調)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		118,334千円	102,205千円	156,278千円		181,475千円				
事業費		67,342千円	57,871千円	89,612千円		88,942千円				
人件費		50,992千円	44,334千円	66,666千円		92,533千円				
成果と課題										
◆5年度は、ファミリースポーツチャレンジや区民まつり(2日目)は雨天中止となったものの、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどと連携し、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組んだ。 ◆今後開催されるパラリンピックやデフリンピックの機運を捉え、パラスポーツの体験型イベントの開催等により、引き続きパラスポーツに対する理解の醸成と普及振興に取り組む。										

取組方針2		スポーツのしやすい環境の整備			主管部長(課)		地域振興部長(スポーツ振興課)				
					関係部長(課)						
スポーツをすること、観ることを通じて、人と人との絆が深まり、地域コミュニティの活性化など地域活力の向上につながる効果が期待できることから、区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上を図り、誰もがスポーツに取り組むことができる環境を整備します。また、都立や民間のスポーツ施設との役割分担を整理するとともに連携を図ります。さらに、オリンピック・パラリンピックの競技施設を活用し、スポーツのしやすい環境の整備に取り組めます。											
指標											
指標名			単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
区立スポーツ施設の利用者数			人	2,424,000 (30年度)	960,000	1,086,000	1,496,000	1,767,000		2,550,000	スポーツ振興課
指標選定理由		区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上など、スポーツのしやすい環境の整備に向けた区の取り組みに対する効果を示す指標であるため									
分析	達成度	◆夢の島競技場の改修工事の影響を受けたものの、コロナ禍の収束に伴い、区立スポーツ施設の利用者数は回復してきている。									
	*	◆依然コロナ禍前の水準まで戻っていないが、引き続き区立スポーツ施設の改修や設備の充実、利用者アンケートに基づく利便性やサービス向上などの取り組みにより、指標の向上を目指していく。									
取組コストの状況											
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算			
トータルコスト		2,676,777千円		2,298,806千円		3,484,128千円		5,654,066千円			
		事業費		2,607,275千円		2,238,019千円		3,425,963千円		5,605,643千円	
		人件費		69,502千円		60,787千円		58,165千円		48,423千円	
成果と課題											
◆引き続き区立スポーツ施設の計画的な改修等により、誰もがスポーツのしやすい環境を整備していく。											
◆4年度にオープンした夢の島スケートボードパークの安定的運営に取り組むとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場となった海の森水上競技場や6年10月に全面開業する有明アーバンスポーツパークなどのレガシー施設と連携し、スポーツ環境のさらなる充実を図る。											

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだスポーツマインドの回復に資するよう、様々なスポーツ団体とも連携し、スポーツに触れる機会の提供に取り組んだ。
今後の方向性	◆パリ2024大会及び2025年に東京で開催されるデフリンピック、世界陸上などの機運を捉えて東京2020大会の開催で高まったスポーツへの関心をさらに高めていけるよう取り組む。 ◆6年度のスポーツ推進計画の改定にあたっては、新たに障害者アンケートを実施しニーズ把握に努めるなど、パラスポーツのさらなる推進の視点も盛り込んでいく。

5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策全体としては近年順調に推移しており、施策進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
実現に向けた取り組み	◆スポーツイベント等の実施について工夫を凝らしながらスポーツに親しめる機会を提供する。また、アンケートの工夫などにより、ニーズや参加を妨げている事由の把握につとめるとともに、 年齢や性別などにより異なるニーズを分析し、区民全体のスポーツ実施率の向上に努める。 ◆「スポーツ推進計画」の改定にあたり、パラスポーツのさらなる推進の視点も盛り込みながら、パラリンピックレガシーの活用等により、障害者スポーツの理解を広め、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備を引き続き進める。 ◆民間施設との連携やオリンピックレガシーを活用した取り組みについてより広く区民に伝わるよう努め、「水彩都市・江東」として豊かな水辺環境を生かしたスポーツを推進する。